

目次

泌尿生殖器病学	1
第1章 泌尿器の構造と機能，泌尿器疾患の症状 (大石明広)	3
1-1 腎泌尿器系の位置，構造および生理的機能	3
1. 腎臓の位置と形態	3
2. 腎臓の構造	3
3. 腎臓の生理的機能	4
1-2 腎臓の水分，電解質，無機質，酸-塩基平衡の調節機能の異常	5
1. 水分の調節機能の異常	5
2. 電解質の調節機能の異常	6
3. 無機質の調節機能の異常	6
4. 酸-塩基平衡の調節機能の異常	7
1-3 腎臓の血圧調節機能の異常	8
1-4 乏尿，無尿，頻尿，多尿	9
1. 乏尿	9
2. 無尿	9
3. 頻尿	9
4. 多尿	9
1-5 尿路閉塞	10
1-6 排尿異常，排尿障害	11
1-7 尿毒症	13
第2章 泌尿器疾患の診断法 (佐藤れえ子)	16
2-1 尿の一般検査と尿沈査	16
1. 尿の性状	16
2. 採尿と尿検査の手順	16
3. 尿の一般検査	17
4. 尿沈査	17
2-2 泌尿器疾患の画像検査および膀胱鏡検査	20
2-3 腎機能の検査方法と診断法	21
1. ネフロンの各部位ごとの腎機能検査	21
2. クリアランス試験	22
3. 分腎機能検査	23
2-4 尿中蛋白質	23
1. 糸球体性蛋白尿	23
2. 尿細管性蛋白尿	24
3. 尿中蛋白 / クレアチニン比	24

第3章 先天性腎疾患【アドバンスト】	(佐藤れえ子) …25
3-1 先天性腎疾患および家族性腎疾患	25
1. 先天性腎疾患の概念	25
2. 腎臓の奇形と腎異形成	25
3. 犬の家族性腎疾患	26
4. 猫の家族性腎疾患	27
3-2 尿路の先天的異常	28
第4章 腎不全	(佐藤れえ子) …30
4-1 急性腎不全	30
4-2 慢性腎不全	34
第5章 上部尿路の炎症性疾患と感染性疾患【アドバンスト】	(星 史雄) …39
5-1 糸球体腎炎, ネフローゼ症候群	39
1. 糸球体腎炎	39
2. ネフローゼ症候群, アミロイド・ネフローゼ	40
5-2 化膿性腎炎	42
5-3 尿細管間質性腎炎	43
5-4 腎盂腎炎	44
第6章 下部尿路の炎症性疾患と感染性疾患【アドバンスト】	(星 史雄) …47
6-1 猫の下部尿路の炎症性疾患	47
1. 無菌性膀胱炎	47
2. 特発性膀胱炎	48
6-2 下部尿路感染症 (膀胱炎, 尿道炎)	50
第7章 尿石症【アドバンスト】	(大石明広) …52
7-1 尿石症の原因, 症状, 診断法および治療法	52
7-2 ストルバイト尿石	55
7-3 シュウ酸カルシウム尿石	56
7-4 尿酸アンモニウム尿石およびキサンチン尿石	57
1. 尿酸アンモニウム尿石	57
2. キサンチン尿石	58
第8章 小動物の生殖器疾患の症状と診断法	(津曲茂久) …60
8-1 発情周期と発情徴候	60
1. 発情周期	60
2. 妊娠期間	61
3. 交配適期と発情徴候	61

8-2	生殖器疾患の症状と検査法	62
1.	膣スメア標本	62
2.	性ホルモン	64
3.	精液検査（精液採取含む）	64
4.	尿検査	65
5.	画像検査	65
第9章	小動物の生殖器疾患	67
9-1	雄性生殖器疾患（河上栄一）	67
1.	陰茎・亀頭部の疾患	67
2.	精巢の疾患	68
3.	前立腺の疾患	70
9-2	雌性生殖器疾患（津曲茂久）	72
1.	生殖器の先天的形態異常	72
2.	膣過形成	74
3.	子宮蓄膿症	74
4.	子宮水症	75
5.	生殖器の腫瘍	75
	内分泌代謝病学	79
第1章	内分泌腺の構造と機能および内分泌疾患の臨床検査法と治療法 （左向敏紀）	81
1-1	内分泌の基礎	81
1.	内分泌の概念	81
2.	分泌様式	81
3.	ホルモンの分泌臓器	82
1-2	ホルモンの種類	84
1.	蛋白質・ペプチドホルモン	84
2.	ステロイド系ホルモン	87
3.	アミノ酸誘導体ホルモン	88
4.	ホルモン変動	89
1-3	内分泌疾患	89
1-4	内分泌疾患の検査法	90
1.	ホルモン検査の基礎知識，負荷試験	90
2.	ホルモンの測定	90
3.	日内変動およびその他の変動要因	91
4.	サンプリング	91
5.	異常データの判断	92
1-5	内分泌疾患の治療法	92

第2章 視床下部・下垂体, 甲状腺, 上皮小体の疾患【アドバンスト】 …………… (松木直章) ……	94
2a 視床下部・下垂体の疾患 ……………	94
2a-1 下垂体ホルモン ……………	94
2a-2 下垂体前葉の疾患 ……………	95
1. 下垂体性矮小症 ……………	95
2. 下垂体機能低下症 ……………	96
3. 汎下垂体機能低下症 ……………	96
4. アロペシア X (成長ホルモン反応性皮膚症) ……………	96
5. 先端巨大症 ……………	97
6. 下垂体依存性副腎皮質機能亢進症 ……………	98
2a-3 下垂体後葉の疾患 ……………	98
1. 中枢性尿崩症 ……………	98
2. 抗利尿ホルモン不適切分泌症候群 ……………	100
2b 甲状腺の疾患 ……………	101
2b-1 甲状腺ホルモンの分泌機構と作用 ……………	101
2b-2 犬の甲状腺機能低下症 ……………	102
2b-3 先天性甲状腺機能低下症 (クレチン症) ……………	105
2b-4 猫の甲状腺機能亢進症 ……………	106
2b-5 犬の甲状腺機能亢進症 ……………	108
2c 上皮小体の疾患 ……………	109
2c-1 血中カルシウム・リン濃度の調節と主な疾患……………	109
1. 血中カルシウム・リン濃度の調節 ……………	109
2. 高カルシウム血症 ……………	110
3. 原発性上皮小体機能亢進症 ……………	110
4. 腎性二次性上皮小体機能亢進症 ……………	111
5. 栄養性二次性上皮小体機能亢進症 ……………	112
6. 低カルシウム血症 ……………	113
7. 原発性上皮小体機能低下症 ……………	113
第3章 副腎の疾患【アドバンスト】 …………… (西飯直仁) ……	116
3-1 副腎の構造と機能 ……………	116
1. 副腎の解剖 ……………	116
2. 副腎の機能 ……………	116
3-2 視床下部-下垂体-副腎皮質系……………	117
3-3 副腎皮質機能低下症 ……………	117
1. 副腎皮質機能低下症の病態・症状 ……………	117
3-4 副腎皮質機能亢進症 ……………	120
1. 副腎皮質機能亢進症 ……………	120
2. 原発性アルドステロン症 ……………	122

3. 褐色細胞腫	123
第4章 膵内分泌疾患【アドバンスト】 (左向敏紀)	124
1-1 膵内分泌器官	124
1. 血糖値調節とホルモン	124
2. インスリンの分泌と作用	125
1-2 インスリノーマ	126
1. 低血糖の病態と鑑別	126
2. インスリノーマの診断	127
3. インスリノーマの治療	127
1-3 糖尿病	128
1. 分類	128
2. 病態	130
3. 症状	131
4. 診断	132
5. 合併症	133
6. 糖尿病の治療	136
第5章 伴侶動物が遭遇する中毒【アドバンスト】 (片本 宏)	144
5-1 中毒の一般的な治療法と主な中毒症	144
1. 中毒の一般的な治療法	144
2. 有機リン剤中毒	145
3. カーバメイト剤中毒	146
4. ピレスロイド剤中毒	146
5. パラコート剤中毒	147
6. ヒ素中毒	147
7. 抗凝固性殺鼠剤中毒	148
8. タリウム中毒	148
9. メタアルデヒド中毒	149
10. エチレングリコール中毒	150
11. アセトアミノフェン中毒	150
12. ニコチン中毒	151
13. チョコレート中毒	152
14. キシリトール中毒	152
15. 鉛中毒	153
16. 亜鉛中毒	154
17. 鉄中毒	154
18. タマネギ中毒	155
19. ユリ中毒	156

20. ヒキガエル中毒	156
正答と解説	158
索引	166